

# 名医がすすめる本当の名医 膝部門

※手術数は'18年度(18年4月~19年3月)のデータを掲載。

所在地	医師名	施設名(所属、肩書など)	施設の手術数				特色
			全人工 膝関節置換術 (TKA)	全人工 膝関節 再置換術	単人工 膝関節置換術 (UKA)	骨切り術	
北海道 釧路市	西池修先生	釧路三慈会病院 (内視鏡・人工関節センター長/副院長)	182件	6件	45件	1件	皮膚や筋肉の切開を最小限に抑える「最小侵襲手術」に特化。迅速で正確な手術は世界的にも評価が高く、海外からの視察も多い。
新潟県 新潟市	涌井元博先生	猫山宮尾病院 (副院長)	337件	2件	12件	63件	ナビゲーションなど最新治療を取り入れる一方、人工関節に関する最新情報の提供と、手術を受けた患者の交流を目的とした「友の会」も主催。
栃木県 河内郡	関矢仁先生	新上三川病院 (関節センターセンター長)	263件	10件	23件	30件	豊富な手術数に加え、診断を受けてから手術に及ぶまでに1~3週間と機動性が高い。リハビリにも365日対応し、早期回復に向けて万全のサポートを受けられる。
埼玉県 川口市	桑沢綾乃先生	埼玉協同病院 (整形外科・関節治療センター副センター長)	358件	0件	25件	5件	丁寧かつ均質な手術手技に定評がある。学会で多くの手術指導の講演を行い、ロボットなどの最新治療も取り入れ、常に患者満足度にごこだわる。
東京都 江戸川区	松本秀男先生	江戸川病院(整形外科) 公益財団法人日本スポーツ 医学財団(理事長)	192件	10件	57件	4件	スポーツ選手の治療も行う。膝の人工関節の名手。「中高年の膝の痛み」について講演を行うなど、手術に加え、最新治療の研究にも力を入れている。
大阪府 大阪市	箕田行秀先生	大阪市立大学医学部 附属病院(整形外科所属)	120件	3件	1件	1件	臨床研究、手術ともに経験豊富。中之島いわき病院長の岩城啓好先生を「日本の膝治療におけるリーダー的存在」と太鼓判。
京都府 京都市	松田秀一先生	京都大学医学部附属病院 (整形外科教授)	73件	2件	15件	22件	膝の名医として'09年、米「Knee Society(膝学会)」の会員にアジアから初めて選出された。オリジナルの人工関節を開発し、重度の「変形性膝関節症」にも対応する。
兵庫県 姫路市	村津裕嗣先生	製鉄記念広畑病院 (副院長兼整形外科部長)	55件	1件	8件	0件	人工膝関節置換術を得意とする。独自に開発した計測器を使って膝関節のバランスを正確に測り、調節することで満足度の高い手術を実現した。
広島県 広島市	曾田是則先生	広島市立広島市民病院 (整形外科主任部長)	183件	4件	0件	6件	幅広い年齢層に対する膝関節手術の実績を誇る。特に、人工関節置換術においては症状に応じて部品や術式を選択し、患者のニーズに応えている。
福岡県 福岡市	王寺享弘先生	福岡整形外科病院 (理事長)	278件	3件	44件	33件	手術に特化した病院でとくに人工関節置換術を得意とする。スタッフの人数が豊富で、術前の検査からリハビリまできめ細かな一貫した対応を受けられる。
沖縄県 豊見城市	新垣晃先生	豊見城中央病院 (顧問)	607件	3件	12件	46件	累計1万件を超える手術実績。短時間で感染症リスクが低い手術を実現。他診療科と連携して高血圧など基礎疾患のある患者の手術も可能。

股関節も膝と同様に手術の目安となるのは、痛みで日常生活にどれくらい不自由さを感じているかだ。湘南鎌倉人工関節センターの院長、平川和男医師が解説する。

「健康だった頃の生活に比べ8割ができていたのは、膝の痛みを見ていっていいでしょう。しかし、6割でなくなれば手術をすすめます。具体的には股関節が曲げづらく靴下を履けない、足の爪が切れないといったこととです。また、脚を引きずり始めたり杖がないと歩けなくなったりした場合などにも手術をおすすめしています。そうした状況を放置していると脚の筋力が落ち、人工関節を

## 手術後もスキーやテニスができる

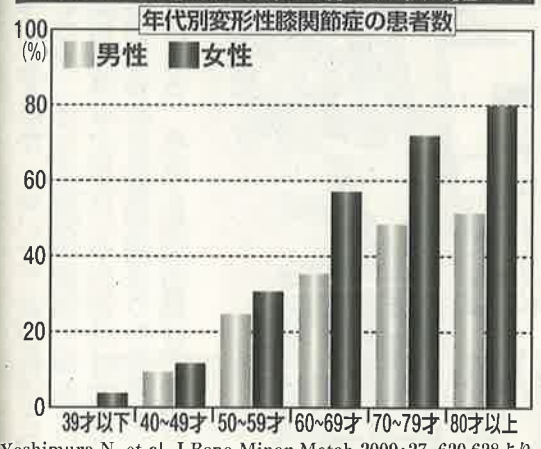
開が6~7cmで、靭帯や筋肉の剥離もほとんどせずに済むので、患者さんの回復が早く、入院も1~2週間で済みます。術後の関節の可動域も全置換より広い傾向があります。ただし、単関節型には取り換えた部分以外の関節が痛み、将来的に再手術が必要となるリスクがあります(岩城医師)。

一方で全置換は筋肉を全く切らずに手術するのは難しい。「入院期間も2~3週間かかります。ただし、痛いところをすべて取り換えてしまおうので、痛みが残りにくいという長所があります(岩城医師)」。どちらが自分に向いているのか、詳しい診断や将来どうなるかも踏まえながら、医師と相談して決めてほしい。

ただし、手術を受けても改善されない点もある。山形済生病院副院長で整形外科診療部長の福島重宣医師が話す。「膝の人工関節のいちばんの弱点は可動域です。術前に正座ができた人は、術後にもできる可能性がありますが、症状が進んだ人は、もともと正座ができない人が多い。そのような人は、術後も正座できないことが多いんです。その点を理解したうえで、手術を受けていただきたいと思えます」。

では、手術はどのように行われるのか。股関節の場合も自分の骨を生かす「骨切り術」と、人工関節に入れ換える「人工関節置換術」がある。骨切り術は骨盤側(白蓋)の部分でドーム状に切り、大腿骨の丸い骨頭を覆うように回転させる方法が主流だ。比較的若い年齢で、関節の変形があまりない人が適用となる。ただし、今回取材した医師によると、近年、股関節の骨切り術はあまり行われていないという。リハビリに1~2年かかるうえ、年を取って骨

## 過半数の60才以上女性が膝に症状を抱える



Yoshimura N. et al. J Bone Miner Metab 2009; 27, 620-628より

「手術は、膝の手術から詳しく見ていこう。手術が選択肢に入るのには、膝にこらえきれない痛みがあり、日常生活に支障が出ている場合だ。」

「患者さんにまずお聞きするのは、階段の上り下りをどうしているかです」

そう話すのは、中之島いわき病院理事長兼院長の岩城啓好医師だ。

「手すりを使って一段ずつ下りたり階段をなるべく避けたりしている人、かつ平地でも痛みのために長い距離を歩けない人。また、買い物などの日常生活にも苦労している場合も、手術をすすめます」

「80才でも手術した方がいい場合も」とはいえ、高齢であれば体に負担がかかる手術をためらう人も多い。だが、あんなに病院院長の水野清典医師は「それでも手術を受けた方がいいケースもある」と話す。

「高齢者の場合、1日の歩数が室内を含め3000歩を下回ると、数年後に寝たきりになる確率が高まる」と研究でわかっています。ですから手術をすることで活動性が回復する見込みがある人は、手術を検討した方がいい。

もう一つは海外旅行やゴルフをしたいといった具体的な目標を持っている場合です。最近では80代のかたでも、そのようなご希望を持っている人が少なくありません。年齢が高くなるほど手術のリスクが高まることは事実ですが、安全に受けられる体力がある人には、手術をすすめます」

変形性膝関節症の手術には大きく分けて、自分の骨を生かす「骨切り術」と、膝関節を

人工に置き換える「人工膝関節置換術」がある。患者の多くは、膝関節の内側の骨が破壊されてO脚になっている。そのため、内側に荷重が偏り、さらに関節が破壊されていく。これを矯正するために、脛骨(すねの骨)の近い部分をくさび状に切り取って人工骨をはめ込み、膝関節の角度を調節するのが骨切り術だ。

「術後は深く膝を曲げることができ、スポーツや農作業もできる可能性が高いという利点があります。ただし、術後しばらくは痛みが続くうえ、骨がつかくまで時間がかかるため、長期間のリハビリが必要となります。骨をつなげるために使うプレートは抜く再手術も必要で、松葉杖なしに歩けるようになるまでおよそ2か月かかります(岩城医師)」。こうしたこともあって、骨切り術は比較的若く、激しいスポーツを続けたいなど、活動性の高い人が対象となる。手術が必要となるほど膝が悪い人は高齢者が多いので、人工膝関節置換術を受ける患者が多いのが実情だ。人工膝関節置換術には「単関節人工膝関節置換術(UKA)」と「全人工膝関節置換術(TKA)」の2種類がある。

「膝の骨のすり減りや破壊は、ほとんどが関節の内側や外側で起こります。その部分だけを人工関節に入れ換えるのが「単関節型」です。これを適用

できるのは、膝全体の變形が比較的少なく、関節の中にある前後の十字靭帯が切れずに機能している場合です。

対して、内側以外にも関節のすり減りや破壊が進んでいる場合には「全置換」となります。すり減った軟骨と傷んだ骨の表面部分を削り、医療用ポリエチレンや金属で健康な形を再現した人工関節に入れ換え、スムーズな膝関節の動きを再現するのが「全置換」です(岩城医師)。

一般的には全置換が8割以上だが、どちらにもメリット・デメリットがある。「単関節型は皮膚の切

## 本誌が取材した膝治療の名医

所在地	医師名	施設名(所属、肩書など)	施設の手術数				特色
			全人工 膝関節置換術 (TKA)	全人工 膝関節 再置換術	単人工 膝関節置換術 (UKA)	骨切り術	
山形県 山形市	福島重宣先生	山形済生病院 (副院長・整形外科診療部長)	441件	7件	46件	8件	「膝と股関節に強い病院」として40年以上の歴史を持つ。一人ひとりの話を傾け、最善の治療法を提案する福島医師のもとには「数時間待ってもいい」と多くの患者が詰めかける。
大阪府 大阪市	岩城啓好先生	中之島いわき病院 (院長)	422件	19件	105件	0件	手術数は大阪でもトップクラス。岩城医師は膝と股関節両方のエキスパートであり、左右の膝を同時に、あるいは膝と股関節を同時に手術を行うこともできる。
兵庫県 神戸市	水野清典先生	あんしん病院 (院長)	603件	14件	217件	3件	保存療法と手術療法の経験が豊富で、一人ひとりに合わせた治療内容を提案。専門のスタッフにどんな助成制度が利用できるかなど、医療費の相談ができる。

※手術数は'18年度(18年4月~19年3月)のデータを掲載。山形済生病院のみ'18年1~12月のデータ。



左から、岩城啓好、水野清典、福島重宣